

2022年上期の振り返り並びに今後の展望

副題：「ウクライナ危機を経験し、ブラジル（及び南米）市場のビジネス環境変化を踏まえて各部会・業界の対応は？（地政学的に見たブラジル市場）」

ブラジル日本商工会議所
コンサルタント部会
天野義仁

2022年8月25日

目次

(コンサルタント部会 部会長 天野義仁)

1. ブラジル経済・経営環境
2. ウクライナ危機を含めたブラジルへの影響

(在伯日本国大使館 中野大輔公使)

3. ブラジル大統領選挙と経済見通し・トピック

4. Q&A

【ご注意】

- 本資料記載の情報は、一般的な参考情報の提供のみを目的に作成しており、会計、税務、法律上およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません
- 本資料の情報はできる限り文献を確認し、最新の情報を考慮していますが、内容の正確性および網羅性を保証するものではなく、意見に関する部分は私見によるものです
- 本資料を利用したことにより被ったいかなる損害についても一切の責任を負いません

1. ブラジル経済・経営環境 —概況

➤ブラジルのマクロ経済

- ✓ GDP
- ✓ 金利 (SELIC)
- ✓ インフレーション (IPCA)
- ✓ 為替
- ✓ 失業率
- ✓ 株式市場

➤税制改正/OECD

➤LGPD

➤M&A

➤スタートアップ

➤経営環境

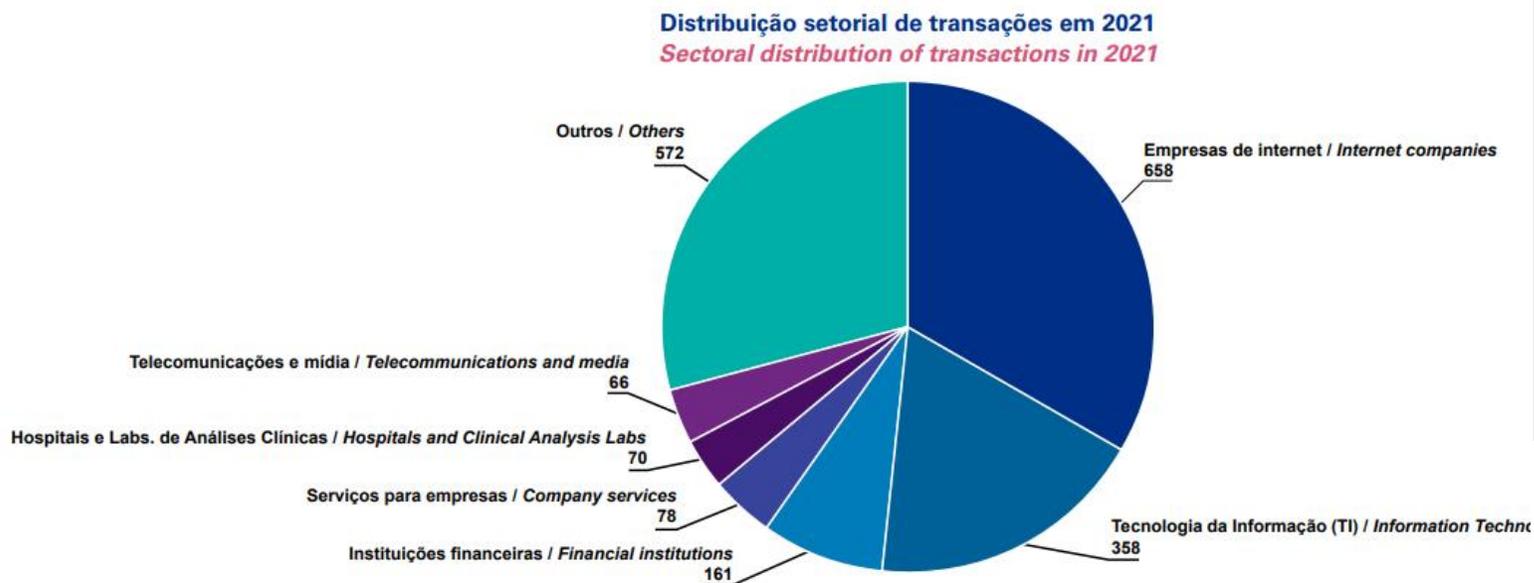
- ✓ 地政学リスク
- ✓ ESG/SDGs
- ✓ 原油・コモディティ高
- ✓ サプライチェーン
 - 半導体・部品不足
 - コンテナ不足
 - 輸送コスト高騰
- ✓ E-commerce
- ✓ サイバーセキュリティ
- ✓ 人材流動性

➤大統領選挙(2022年10月)

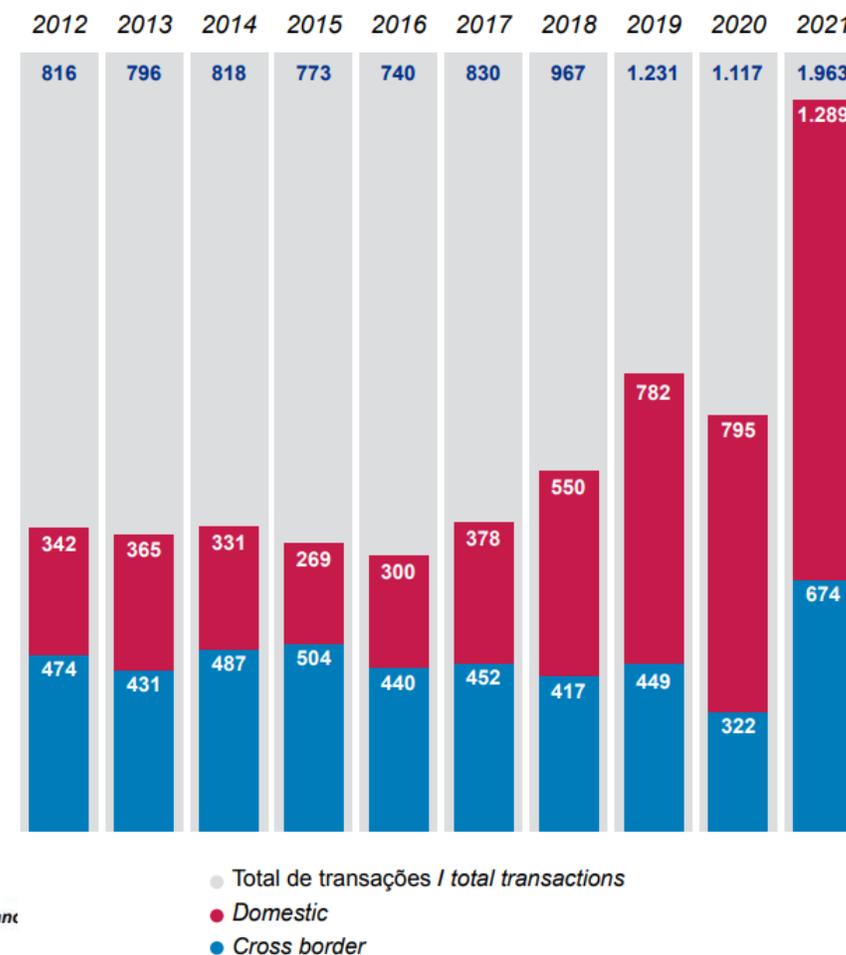
1. ブラジル経済・経営環境 - ブラジルM&A状況①

- 2021年は、過去最大のM&A件数がブラジルで発生（国内市場、クロスボーダー市場ともに）
- M&Aの半数が、インターネット&ITテクノロジー分野

2021年 M&Aの取引件数の分野別内訳

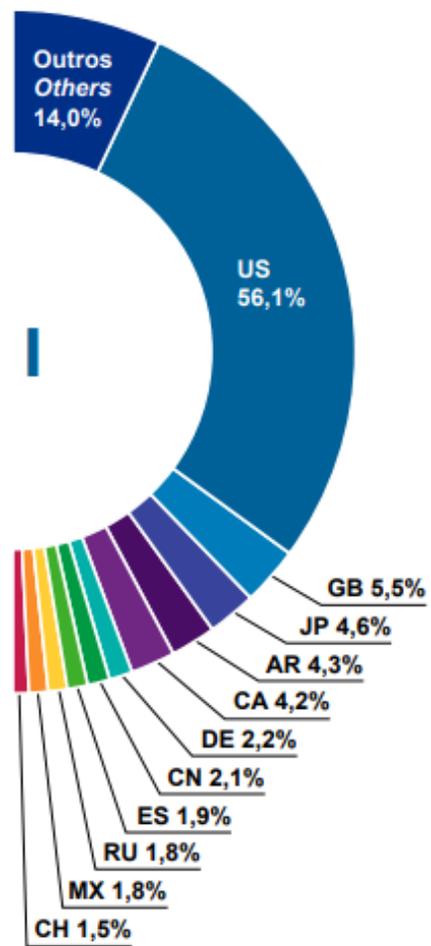


M&Aの取引件数（過年度比較）



1. ブラジル経済・経営環境 - ブラジルM&A状況②

2021年・クロスボーダー国別件数



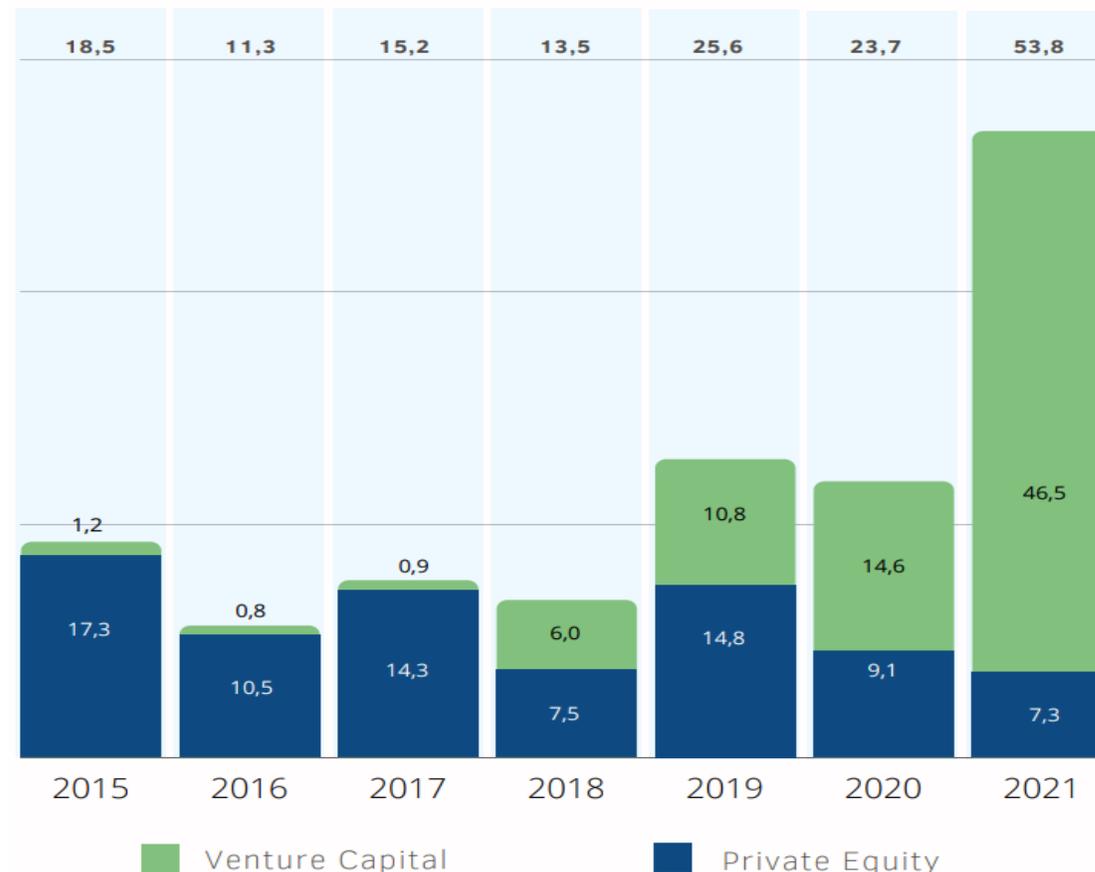
Pais investidor Investor country	Transações Transactions
AE Emirados Árabes / Arab Emirates ¹	4
AR Argentina / Argentina	29
AU Austrália / Australia ¹	2
BE Bélgica / Belgium ¹	5
BM Bermudas / Bermuda ¹	3
BR Brasil / Brazil ^{1,2}	3
CA Canadá / Canada	28
CH Suíça / Switzerland	10
CL Chile / Chile ¹	9
CN China / China	14
CO Colômbia / Colombia ¹	6
DE Alemanha / Germany	15
ES Espanha / Spain	13
FR França / France ¹	7
GB Reino Unido / United Kingdom	37
HK Hong Kong / Hong Kong ¹	2
IE Irlanda / Ireland ¹	3
IL Israel / Israel ¹	2

IN Índia / India ¹	2
IT Itália / Italy ¹	6
JP Japão / Japan	31
KR Coreia do Sul / South Korea ¹	1
KY Ilhas Cayman / Cayman Islands ¹	1
MU Maurício / Mauritius ¹	1
MX México / Mexico	12
NL Holanda / Netherlands ¹	7
PT Portugal / Portugal ¹	3
RU Rússia / Russia	12
SE Suécia / Sweden ¹	7
SG Singapura / Singapore ¹	7
TH Tailândia / Thailand ¹	1
TR Turquia / Turkey ¹	2
US Estados Unidos / United States	378
UY Uruguai / Uruguay ¹	5
VE Venezuela / Venezuela ¹	1
ZA África do Sul / South Africa ¹	5
Total geral / General total	674

1. ブラジル経済・経営環境 -プライベートエクイティ（PE） & ベンチャーキャピタル（VC）の投資状況①

- 2021年は、過去最大のVC投資がブラジルで発生（前年比約3倍）
- 投資セグメントのトップ3
 - FinTech & InsurTech（28%）
 - RetailTech（11%）
 - HealthTech（9%）
- ブラジルでは引き続きユニコーン企業が発生

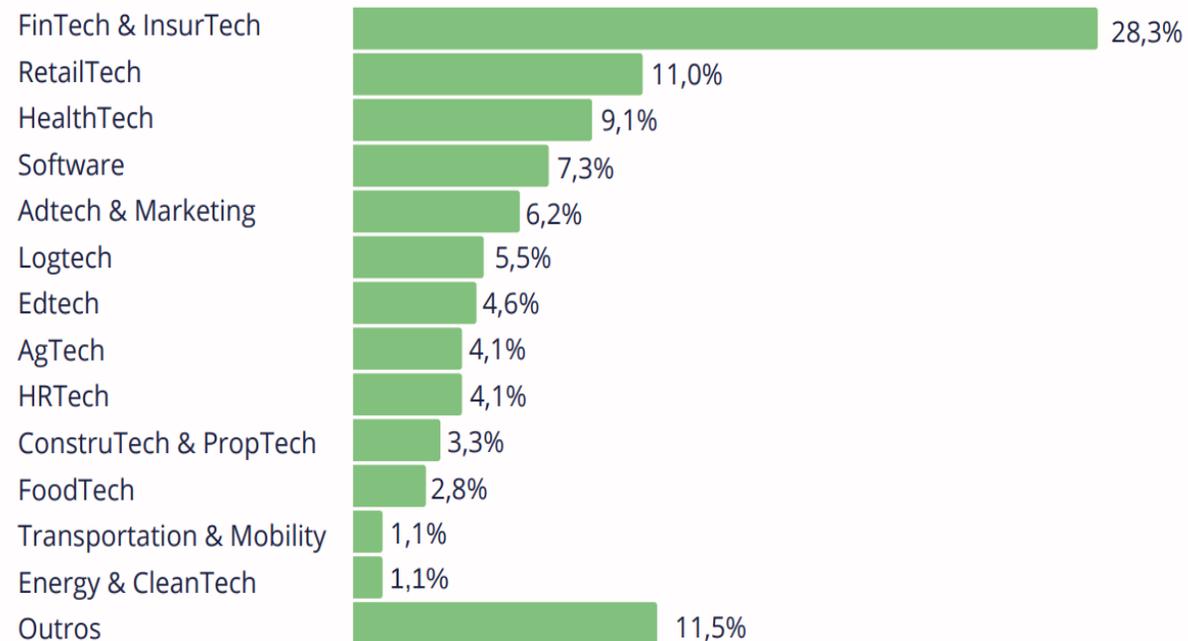
年度別-ブラジルで発生したPE & VCの投資総額
 （単位：10億レアル）



Source: : PRIVATE EQUITY E VENTURE CAPITAL NO BRASIL / CONSOLIDAÇÃO DE DADOS DA INDÚSTRIA / INVESTIMENTOS | ANO 2021 - abvcap

1. ブラジル経済・経営環境 -プライベートエクイティ（PE） & ベンチャーキャピタル（VC）の投資状況②

VC-2021年投資セグメント



主要ユニコーン企業

2018	2019	2020	2021
NUBANK	GYMPASS	VTEX	MERCADO BITCOIN
ASCENTY	LOGGI	LOFT	MADEIRA MADEIRA
STONE	QUINTO ANDAR	CREDITAS	UNICO
PAGSEGURO	EBANX	HOTMART	FRETE.COM (ANTIGA CARGO X)
ARCO	WILD LIFE		CLOUDWALK
99			DAKI
IFOOD			OLIST
			FACILY

FONTE: ABVCAP E KPMG

2. ウクライナ危機を含めたブラジルへの影響 ーロシアとの貿易関係

ロシア

- ブラジルは肥料の85%を輸入に依存しており、ロシア産が多くを占める
- ロシア産原油の経済制裁に起因する原油高はブラジルでのインフレ上昇の大きな要因

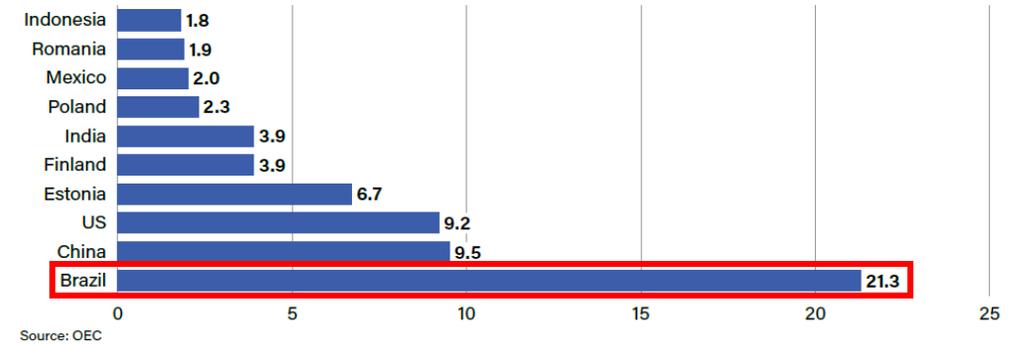
2016-2020年のロシアからの主要輸入品目（金額：USD Billion）

品目	ロシアからの輸入額	ブラジルの輸入総額	ロシア産の割合
カリウム肥料	3,5	14,8	23%
混合肥料	2,7	13,5	20%
窒素肥料	2,5	11,8	21%
瀝青炭	1,4	14,2	10%
アルミニウム	1,2	3,4	35%

2016-2020年のロシアへの主要輸出品目（金額：USD Billion）

品目	ロシアへの輸出額	ロシアの輸入総額	ブラジル産の割合
大豆	2,2	4,6	48%
豚肉	1,5	1,9	78%
牛肉（冷凍）	1,3	4,1	31%
たばこ	0,8	3,6	22%
鶏肉	0,6	1,7	35%

Top 10 destinations of Russia's fertilizers in % of Russia's total fertilizer exports, 2019



2016-2020年の世界の主要輸出国（金額：USD Billion）

原油	%	精製油	%	天然ガス	%
サウジアラビア	16%	米国	12%	カタール	12%
ロシア	11%	ロシア	10%	米国	11%
イラク	8%	シンガポール	7%	オーストラリア	11%
カナダ	6%	オランダ	6%	ロシア	10%
UAE	6%	韓国	5%	ノルウェー	5%

2. ウクライナ危機を含めたブラジルへの影響 ーウクライナとの貿易関係

ウクライナ

- ブラジルとの貿易は輸出・輸入共にわずかであり、直接的な経済的影響は軽微
- 多くの農産物の生産国であるため、輸出途絶による食料価格上昇はブラジルでのインフレ上昇に影響
- 一方、輸出途絶はブラジル産の農産物の輸出への追い風となる可能性あり（特にとうもろこし）

2016-2020年のウクライナからの主要輸入品目（金額：USD Billion）

品目	ウクライナからの輸入額	ブラジルの輸入総額	ウクライナ産の割合
医薬品	0,066	17,5	0,4%
電熱機器	0,035	2,3	1,5%
熱間圧延鋼板	0,032	0,7	4,6%
麦芽	0,029	2,6	1,1%
冷間圧延鋼板	0,021	0,5	4,2%

2016-2020年のウクライナへの主要輸出品目（金額：USD Billion）

品目	ウクライナへの輸出額	ウクライナの輸入総額	ブラジル産の割合
たばこ	0,268	1,2	22%
コーヒー	0,099	0,569	17%
アルミニウム鉱	0,088	1,0	9%
合鉄金	0,079	0,615	12%
特殊用途自動車	0,077	0,663	11%

2016-2020年の世界の主要輸出国（金額：USD Billion）

小麦	%	ひまわり油	%	とうもろこし	%
ロシア	16%	ウクライナ	42%	米国	31%
米国	14%	ロシア	15%	アルゼンチン	14%
カナダ	14%	アルゼンチン	6%	ブラジル	13%
フランス	8%	オランダ	5%	ウクライナ	11%
ウクライナ	8%	ハンガリー	4%	フランス	5%

2. ウクライナ危機を含めたブラジルへの影響 —農産物コモディティの動向及び展望

	大豆	とうもろこし	鶏肉	小麦
ブラジルの世界輸出のシェア	1位 (44%)	3位 (15%)	1位 (22%)	N/A
ウクライナ・ロシアの世界輸出のシェア	6位ウクライナ、1% 7位ロシア、0,7%	4位ウクライナ、13% 12位ロシア、1%	13位ウクライナ、2%	1位ロシア、19% 5位ウクライナ、9%
国際価格の推移	2021/12 : 13USD/ブッシェル 2022/04 : 17USD/ブッシェル	2021/12 : 6USD/ブッシェル 2022/04 : 7,5USD/ブッシェル	2021/12 : 2,7USD/kg 2022/04 : 3,7USD/kg	2021/12 : 8USD/ブッシェル 2022/04 : 11USD/ブッシェル
直近の動向	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル含む南米での干ばつによる減産 ウクライナでの輸出制限 大豆の代替として使用されるウクライナ産ひまわり油の輸出制限 	<ul style="list-style-type: none"> 中国市場の5割を供給していたウクライナ産とうもろこしの輸出制限 2022年5月に伯中間で輸出に向けた衛生プロトコルを締結。22年下期にブラジルから初の中国向け輸出が開始予定 	<ul style="list-style-type: none"> ウクライナでの輸出制限 生産2位の米国で鳥インフル蔓延 世界的なインフレ局面により消費者の牛肉からより安価な鶏肉への消費転換に起因する需要増 	<ul style="list-style-type: none"> ロシア及びウクライナでの輸出制限 ブラジルの自給率を高めるため、EMBRAPAによって熱帯で栽培可能な小麦をセラード地域において開発・展開中
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 需要増・供給減による記録的な価格上昇は継続する見通し 米国（世界2位）での作付け面積拡大（5%増）、天候回復によるブラジル含め南米での生産回復の予測 	<ul style="list-style-type: none"> ウクライナ産の作付け面積の減少（40%）及び輸出制限 紛争による供給減も、主要生産国での好収穫の期待もあり価格上昇は限定的の予想 	<ul style="list-style-type: none"> 需要増・供給減により価格上昇は継続の見通し ウクライナ産の輸出制限、米国産の減産によるブラジル産のシェア拡大の予測 	<ul style="list-style-type: none"> アルゼンチン、カナダで増産の期待も、ロシア・ウクライナの輸出制限の穴を埋めることは難しく、記録的な価格は今後も継続の見通し

2. ウクライナ危機を含めたブラジルへの影響 －経済的影響に対する政府の対策例

石油、LPガス

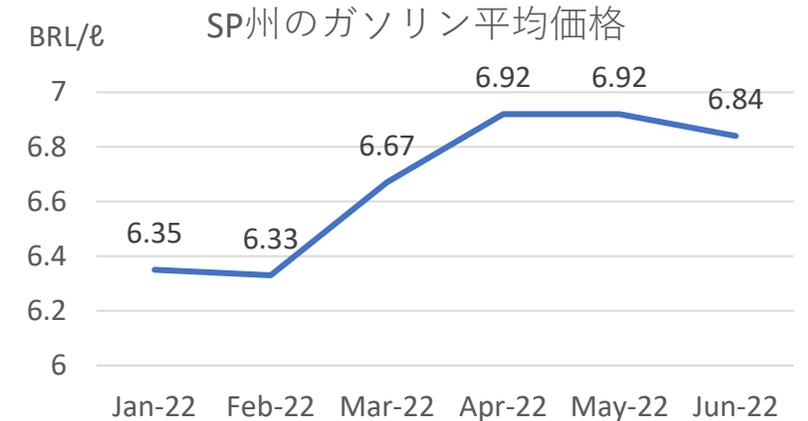
政府対策：

- 2021年11月－家庭用ガス購入への**支援金**を給付、ガス及びディーゼルに対する**CIDE税を0%**に引き下げ（法令14.237号）（継続中）
- 2022年3月－**PIS COFINS**税率を2022年12月31日まで**0%**に引き下げ（補足令192号）
- 2022年6月－**ICMS**税率に対する**上限**を設定（補足令194号）

肥料

政府対策：

- 2022年3月－**肥料国産化計画 (Plano Nacional de Fertilizantes)**を発表
 - 2040年までに輸入依存を85%から50%まで下げ**ることを目指す。5つの戦略で構成：
 1. 既存の生産設備の近代化
 2. 投資誘致のためのビジネス環境の改善
 3. 国産肥料の生産に対する競争優位の促進
 4. 研究開発への投資拡大
 5. 物流拠点の統合及びインフラ改善
- 2022年3月－**代替輸入国**としてイラン・カナダへの外交ミッションを派遣
- 肥料消費を抑える農業手段を国立農畜産研究公社（EMBRAPA）が重点項目として研究中



ご清聴ありがとうございました。